

特別養護老人ホーム メリーホーム幸田

TOTO

外観



特別養護老人ホーム「メリーホーム幸田」は、愛知県中南部の幸田町に開設。幸田町では、最も大きい特養施設となる。外観は、欧州をイメージしたレンガ造り風の建物となっている。

内観



施設の外観はイタリアの街並みをイメージして造られている。まるで街を散歩しているように窓からの眺めを楽しむことができる談話室や、落ち着いた雰囲気のお茶コーナーなどが設けられている。

共用トイレ



トイレは2部屋に1ヶ所、左右勝手違いで設置している。大便器は、異物が詰まってもすぐに取り除くことができるように、掃除口付き大便器を採用。

居室



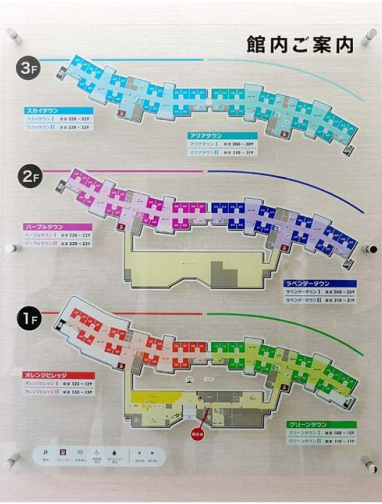
ゆったりと過ごせる個室。ベッドは、転倒防止の低床タイプや、離床を検知しナースコールで知らせる認知症対応ベッドなど、入居者の状況にあわせたベッドを用意。

デイサービス 入口



デイサービスの出入口近くに設置された洗面コーナーには、車いす対応洗面カウンターを採用。車いすでアプローチした際、フットレストが電気温水器や排水金具に当たらないように、パネルでカバーしている。

フロア案内



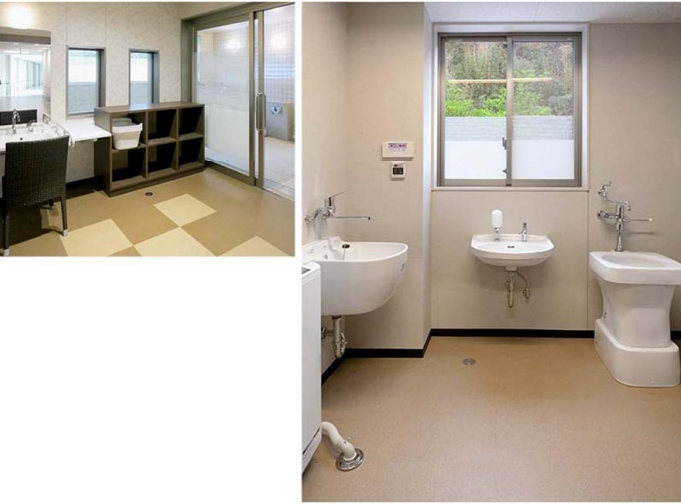
1ユニット10室で、各フロアに4ユニットの計12ユニットあり、定員は120名。1Fは重度の方、2Fは軽度の方、3Fは認知症の方と、入居者を介護レベルや介護内容でフロアごとに分けている。

機械浴室



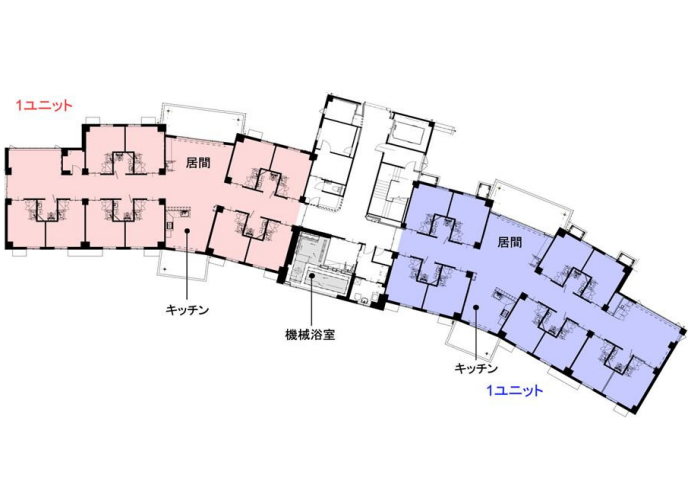
さまざまな身体状況の方に対応、安心して入浴していただけるように、車いすのまま入浴できるタイプ、寝たまま入浴できるタイプなど、バリエーション豊富な機械浴槽を用意している。

脱衣室・汚物処理室



脱衣室に隣接して、汚物流し・洗濯流し・洗濯機を備えた、汚物処理室を設置している。

平面図



共用スペース



ユニットごとに共用の居間とキッチンを設置。上質なインテリアは、ナチュラルカラーとミディアムカラーとダークカラーの3パターンがあり、いずれも家庭的で温かい雰囲気の中で食事を楽しむことができる。

建築概要

名 称	特別養護老人ホーム メリーホーム幸田
所 在 地	愛知県額田郡幸田町大字深溝字皿入1番1
施 主	社会福祉法人あいち
設 計	株式会社C&C設計
施 工	山旺建設株式会社
竣 工 年 月	2015年3月

水まわりの特長

<施設の概要>
特別養護老人ホームメリーホーム幸田は、「幸せ」や「生きがい」を大切に、高齢者の方に安心して、楽しく過ごしていただける施設を目指している。施設全体を一つの地域として捉え、館内はイタリアの街をイメージした造りになっている。入居者の生活空間である、1ユニット10室の各ユニットを町や村に見立て、それにあわせて壁紙などの色調を変えることにより、ユニットごとに個性や特徴を持たせている。館内の廊下もイタリアのストリートを思わせる造りになっており、室内にいながらも外出しているような雰囲気を楽しむことができる。

<トイレの特長>
ユニット内の共用トイレは、2部屋に1ヶ所、左右勝手違いで設置。大便器は、異物が詰まってもすぐに取り除くことができるように、掃除口付き大便器を採用。浴室は、さまざまな身体状況の方に対応できるように、車いすのまま入浴できるタイプ、寝たまま入浴できるタイプなど、バリエーション豊富な機械浴槽を用意している。デイサービスの洗面コーナーは、車いす対応洗面カウンターを採用。車いすでアプローチした際、フットレストが電気温水器や排水金具に当たらないように、下部をパネルでカバーをしている。